

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」 ～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

### <本年度の学力向上基本方針>

主体的・対話的・探究的な学びを通して、創造できる生徒の育成  
～繋げる・広げる・究める～

4月

### 学力向上目標①

さいたま市学力学習状況調査の、数学の平均正答率を全学年で令和元年度の値より 3pt 向上させる。また、国語の平均正答率も全学年で、令和元年度の値より 3pt 向上させた値にする。

### <目標達成に向けた学力向上策>

#### 策1

数学の授業では小テストを行い、基礎学力の向上に努める。また、全学年において若木タイム（読書）を朝実施し、読書活動の啓発を図る。

開始期日

5月中

#### 具体的な手立て

- ・令和元年度、さいたま市学習状況調査を分析し、実態を把握する。
- ・数学部会で、ワークシートを作成し、小テストを実施する。
- ・国語の授業で、語句の基礎等を繰り返し行い、ビブリオバトルへの活動を促進する。
- ・支援の必要な生徒に、ミライシード(ドリルパーク)を用いた取り出し授業を進める。

2月

### 本年度の振り返り

数学部会での小テストの取り組みや国語部会でのビブリオバトルへの活動推進は、とても効果的な活動であった。また、基礎学力を定着させるために、支援の必要な生徒以外にもドリルパークを活用することで基礎学力向上に繋がった。

達成度

80%

3月

### 次年度の学力向上目標の柱・ポイント

本年の活動を継続させるとともに、次年度より「ICT教育×アクティブラーニング」による探求型の学びを推進するために、各教科でアクティブラーニング型の授業実践に向けテーマを決め授業実践するとともに、ICTを活用した、個別最適な学びを支援する指導・協働的な学びを支援する指導を充実させたハイブリッド型の授業を実践します。また、コミュニティー・スクールのスタートにより小中学校が連携し、9年間の継続的な学び（ドリルパーク等）を活用し、生徒一人ひとりが学びを深めていけるような取り組みを実践します。